

【開講日】令和4年4月26日(火)

【2月25日 修正版】
三鷹サテライト教室

文学
三鷹
0401009

楽しく読む万葉集

— 万葉集入門 —

受講料 (振込額)	12,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	火曜日		日程 4月26日 5月10・24日 6月14・28日 7月12日	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全6回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	元武蔵野女子学院中学高校教員 上村 正人 (かみむら まさと)				
	1938年生まれ。1960年、東京学芸大学乙類国語科(漢文専攻)卒。同年武蔵野女子学院中学高校国語科教諭(古文・漢文・現代文担当)。2003年3月、同上校定年退職。その間、東京学芸大学名誉教授・故安良岡康作氏(中世文学・国語教育専攻)に師事し日本中世文学を中心に研究。中世文学会、仏教文学会、解釈学会、日本文学協会にも所属してきた。なお、本学生涯学習講座においては、「西行の和歌」「徒然草(抜粋)」「方丈記」「奥の細道」「野ざらし紀行」「鹿島詣」「笈の小文」「更科紀行」「嵯峨日記」「百人一首」「伊勢物語」「西行の歌と人生」「紀貫之の文学(「土佐日記」「古今集)」「和歌文学史入門」「十六夜日記」「とはずがたり」「建礼門院右京大夫集」「平家物語」「源氏物語宇治十帖」をとりあげてきた。				
内容	日本古典和歌の集成で最古・最大(歌数最多)の「万葉集」は、大変謎の多い歌集で、誰が最終編集者であるのか明確でない上、苦労した手段で(どういう文献類から集めたのかは、少しはわかっているものの)筆録された「万葉仮名」という表記も色々問題が多いです。しかし、幸い、既に平安時代から始まった多くの研究者の手によって、ほとんど解明され、読めるようになっています。難しい問題はさておき、万葉集の著名な歌人の作品をとりあげ注釈し、鑑賞してゆきましょう。				
	持ちもの ① テキストは『万葉集』の角川ソフィア文庫・岩波文庫など。注釈のついていないものも可。但し、国歌大観番号のついていないもの。 ② 古語辞典。 ③ 配布プリント。				

内容の続きは裏面をご覧ください

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

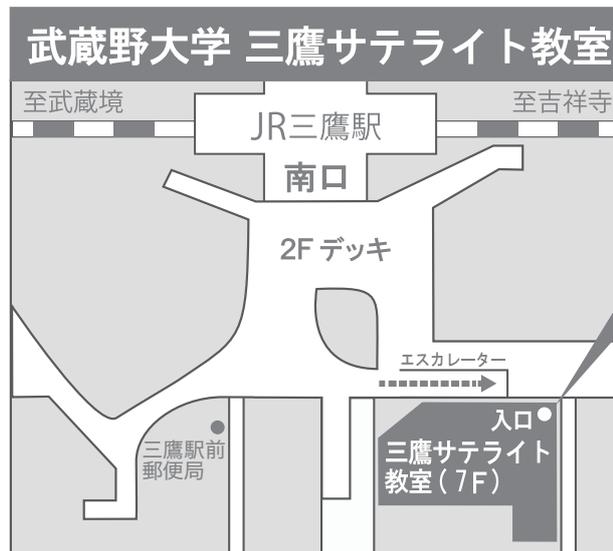
開室日: 月～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 地域交流推進課

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

内 容	① 4月26日:「万葉集」概説。(「万葉集」という名称のいわれ。歌数・歌体・万葉仮名のことなど)
	② 5月10日:第一期の歌人たちの作品を読む。磐姫、雄略天皇の歌
	③ 5月24日: // 聖徳太子、舒明天皇の歌
	④ 6月14日:第二期の歌人たちの作品を読む。額田王、有間皇子、中大兄皇子の歌
	⑤ 6月28日: // 鏡王女、天智天皇、天武天皇の歌
	⑥ 7月12日: // 高市黒人、柿本人麻呂の歌

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。